



「新型コロナウイルスに負けない！ 新しい生活様式に即した活動等の展開に向けて」

津南町教育委員会

教育次長 高橋 昌史

明けましておめでとうございます。令和3年が皆様にとりまして、より良い一年となりますよう衷心よりご祈念申し上げますとともに、本年も「育ネットつなん」の活動等に引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

昨年は、全国で新型コロナウイルス感染症が蔓延するなか、保育園や学校での諸活動をはじめ、「育ネットつなん」に係る会合や諸活動も制限や延期、中止を余儀なくされ、園児、児童生徒はもちろん、保護者の皆様、関係各位にはなにかとご不便とご迷惑をおかけいたしました。本紙面をお借りしましてお詫びと感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の広がりは、私たちの日々の暮らし、子どもたちの保育・教育を取り巻く環境、活動等に大きな影響を与えるとともに、劇的な変化をもたらしました。

これまででは、あることが、できることが、当たり前と思い過ごしてきた何気ない日常、家族との団らん、友人との楽しい会話や食事、仲間との日々の園活動や学校生活が、いかに大切で、いかにかけがえのないものなのかを、私たち大人や保護者はもちろん、子どもたち自身も身をもって感じ、経験することができたように感じています。

一方、年が改まってもなお、世界中で新型コロナウイルスはその形を変えながら、依然猛威を振るい続け、感染拡大に歯止めがかからず、未だ収束の目途が立たない状況にあることは、ご案内のとおりです。

今後は、『ウィズコロナ』『ポストコロナ』をキーワードとして、私たちの暮らしはもちろん、何よりも子どもたちにとっても安全・安心な「新しい生活様式」を模索し続け、それを現場でいかに構築し、実践できるかが、何より重要だと考えます。

そのためには、「育ネットつなん」の組織、活動等がより一層大切になると考えます。誰もが経験したことのない本コロナ禍の状況下にあって、その対応・対策には、一人でも多くの人智を結集し、より強固な絆と連携のもと、新しい時代を見据えた、臨機応変の保育・教育活動の展開、施策が必要不可欠となります。

郷土津南の未来を託し、また一方で過酷な現実に逃げることなく、新たな時代に勇気をもつて立ち向かうべく「強くて、やさしい、津南の子ども」の成長・育成に向けて、引き続き関係各位の更なるお力添えをお願いいたします。

土曜つなっぺ広場

『パパ一緒に遊ぼう!!』

11月14日（土）子育て支援センターで土曜つなっぺ『パパ一緒に遊ぼう!!』が開催され、新型コロナウイルス感染症の予防対策をした中で9組の親子の方が参加されました。

参加されたお父さんからは、子どもたちが選んだ遊びと一緒に遊ぶ姿や「これやってみよう！！」と声かけをする微笑ましい姿がありました。

お仕事に就くお母さんも増えてきている現在、お父さんが育児に間接的なサポートだけでなく、直接的な関わりが必要になってきています。お父さんの育児参加は、子どもに自信を育み活発に育っていくことにも繋がると言われています。



パパありがとう!!
また、あそんでね



パパと一緒に来れて
うれしいな♡



じょうずに
きれるかな…?



クリスマスつなっぺ広場



12月22日～25日の4日間、「クリスマスつなっぺ広場」を行いました。

クリスマスリースやサンタのお面を作る「制作コーナー」や大人も子どもも可愛く変身できる「サンタ変身コーナー」等で、親子で楽しくクリスマス気分を満喫しました。



『子育て支援センター』は、乳児・幼児の遊び場を提供しています。

コロナ禍で、子育てをしていく環境の変化に戸惑う方もいらっしゃると思います。その中でも親子で楽しく過ごせ、少しでも気分を変えてリフレッシュできる時間を生活の中に取り入れて貰えたらと考えておりますので、保護者、ご家族どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

子どもや親同士が交流できる楽しい“つなっぺ広場”や“相談事業”も行っています。子育ての相談等がありましたら、お気軽に相談ください。

* 午前9時～11時30分 午後1時～4時

* TEL：765-2738

* 相談受付時間：午前8時30分～午後5時15分

子育て支援センター主任保育士：樋口ゆかり



津南の子どもたちの良好な生活状況を、更に向上!!

津南町教育委員会

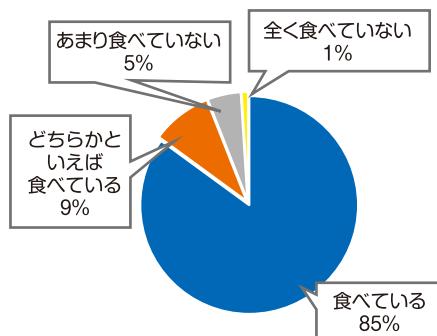
管理指導主事 滝沢甲子夫

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により学校行事やイベント等が中止され、子どもたちも戸惑いを感じたことだと思います。毎年行っている全国学力・学習状況調査も中止されました。そこで、町内の小学校6年生と中学校3年生から、育ネットつなんで取り組んでいる活動に関する学習状況調査の内容でアンケートをとりました。下記のグラフがその結果です。ほとんどの質問項目で約8割が肯定的な回答でした。全体的には良好と言えるでしょう。

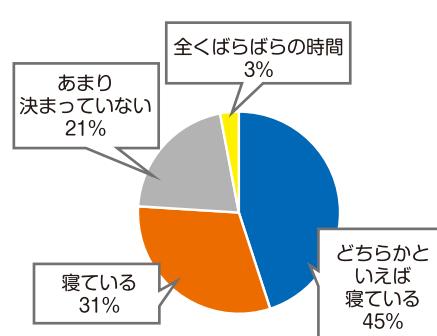
課題として取り上げられている家庭学習の時間についても、昨年度より向上していますが、1%の生徒がまだ全くしないと回答しています。また、「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」の質問では、『思う』が100%を欠けています。少数ではありますが、いくつかの質問項目で『当てはまらない』と答えた子どもたちが気になります。



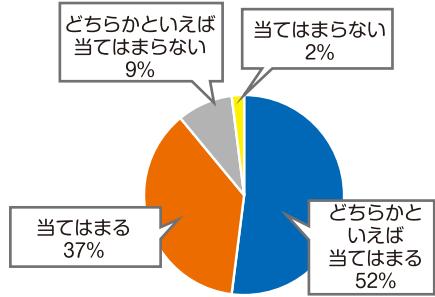
問1 朝食を毎日食べていますか



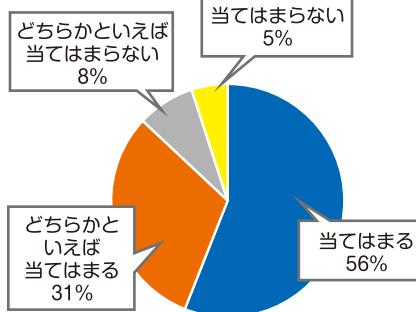
問2 毎日、同じ時間に寝ていますか



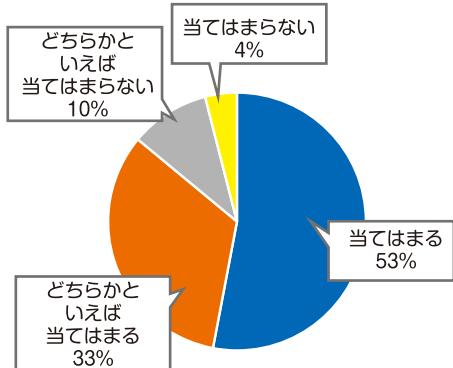
問3 自分には、よいところがあると思いますか



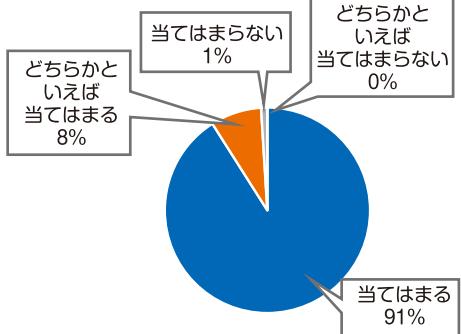
問4 先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか



問5 学校に行くのは楽しいと思いますか



問6 いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか



問7 学校の授業時間以外に普通1日当たりどれくらいの時間勉強しますか

